



ユーザーガイド

© Copyright 2018 HP Development Company,  
L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 1 版：2018 年 1 月

製品番号：935553-292

## このガイドについて

このガイドでは、モニターの機能、設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

- 
- ⚠ **警告！** 回避しなければ人体への傷害や生命の危険を引き起こす**可能性のある**危険な状況を示します。
  - ⚠ **注意：** 回避しなければ装置の損傷やデータの損失を引き起こす**可能性のある**危険な状況を示します。
  - 📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
- 

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
製品の特長および各部 .....	2
特長 .....	2
背面の各部 .....	3
モニターの設置 .....	4
モニターを設置するときの注意 .....	4
モニター スタンドの取り付け .....	4
ケーブルの接続 .....	5
USB デバイスの接続 .....	9
モニターの調整 .....	9
モニターの電源投入 .....	11
モニターの取り付け .....	12
モニター スタンドの取り外し .....	12
取り付け器具へのモニターの取り付け .....	13
<b>2 モニターの使用</b> .....	<b>14</b>
ソフトウェアおよびユーティリティ .....	14
情報ファイル .....	14
Image Color Matching ファイル .....	14
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用 .....	15
機能ボタンの割り当て .....	16
PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用 .....	17
低ブルー ライト モードの調整 .....	17
自動スリープモードの使用 .....	18
<b>3 サポートおよびトラブルシューティング</b> .....	<b>19</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	19
ボタンのロックアウト .....	20
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	20
お問い合わせになる前に .....	20
シリアル番号と製品番号の位置 .....	20

<b>4 モニターの保守</b> .....	<b>21</b>
保守に関するガイドライン .....	21
モニターの清掃 .....	22
モニターの運搬 .....	22
<b>付録 A 技術仕様</b> .....	<b>23</b>
プリセットディスプレイ解像度 .....	24
省電力機能 .....	25
<b>付録 B ユーザーサポート</b> .....	<b>26</b>
サポートされている支援技術 .....	26
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	26

# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このドキュメントは、正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📖 重要：**モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

**⚠ 警告！** 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

**📖 注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

# 製品の特長および各部

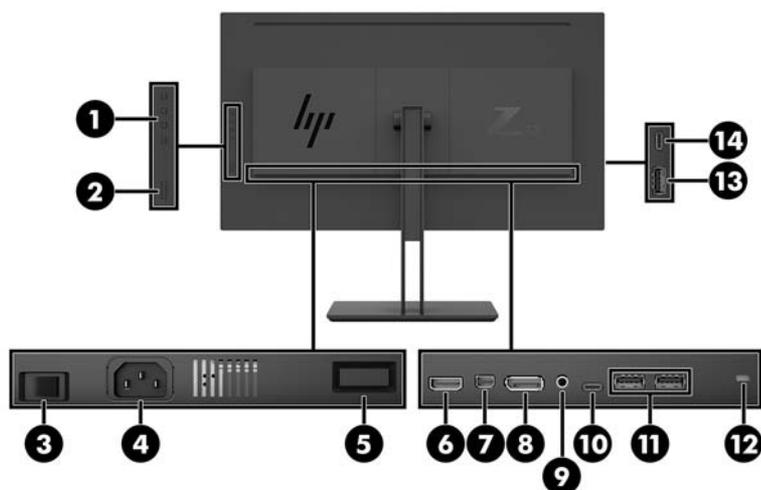
## 特長

このモニターの特長は以下のとおりです。

- 3840×2160 UHD 以下の解像度をサポートする、31.5 インチ（対角長 80 cm）の表示領域
- ワイドなカラー ガマットによって、sRGB の色空間をカバー
- LED バックライト付きノングレア パネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- 画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- モニター パネルを固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- HP クイック リリース 2 により、ワンタッチですばやくモニター本体をスタンドに取り付けたり、リリースタブをスライドさせるだけでモニター本体を取り外したりすることが可能
- DisplayPort ビデオ入力
- Mini DisplayPort ビデオ入力
- HDMI（High-definition Multimedia Interface）ビデオ入力×1
- デュアル PIP 機能によって、2 分割した画面に DisplayPort および HDMI 入力をそれぞれ並べて表示することが可能
- オーディオ出力コネクタ
- USB 3.0 ハブ（アップストリーム ポート（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム ポート（USB デバイスに接続）×4）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB ポートを接続する USB ケーブルが付属
- リアパネルの 4 つの機能ボタンのうち 3 つが再設定可能なので、頻繁に使用する操作をすばやく選択可能
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）
- モニター背面の、別売のセキュリティ ロック ケーブル用スロット
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記**：安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## 背面の各部



名称	機能
1 機能ボタン	<p>オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを操作するときを使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの上に、操作に関するインジケータが表示されます</p> <p><b>注記:</b> OSD メニューの機能ボタンを割り当てて、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、<a href="#">16 ページの機能ボタンの割り当て</a>を参照してください</p>
2 電源ボタン	モニターの電源をオンまたはオフにします
3 主電源スイッチ	<p>モニターのすべての電源のオン/オフを切り替えます</p> <p><b>注記:</b> モニターを使用していないときにこのスイッチをオフの位置にすると、モニターの消費電力が最も低い状態になります</p>
4 電源コネクタ	電源コードを接続します
5 VESA 準拠のリリースボタン	モニターからスタンドを解放します
6 HDMI 入力端子	入力デバイスの HDMI ケーブルをモニターに接続します
7 Mini DisplayPort 入力端子	入力デバイスの Mini DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
8 DisplayPort 入力端子	入力デバイスの DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
9 オーディオ出力コネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、テレビオーディオケーブルなどを接続します
10 USB Type-C ポート (アップストリーム)	USB Type-C ケーブルを入力デバイスに接続します
11 USB Type-A ポート (×2) (ダウンストリーム)	入力デバイスの USB ハブケーブルをモニターに接続します
12 セキュリティロックケーブル用スロット	<p>セキュリティロックケーブルを固定物に取り付けます</p> <p><b>注記:</b> セキュリティロックケーブルに抑止効果はありますが、モニターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>

名称	機能
13	USB Type-A ポート (ダウンストリーム) 別売の USB デバイスをモニターに接続します
14	USB Type-C ポート (ダウンストリーム) USB Type-C ケーブルを入力デバイスに接続します

USB Type-C アップストリーム ポートは、DisplayPort オーディオ/ビデオ入力および USB 3.0 アップストリーム接続としても機能し、最大 65 W の電源をデバイスに供給することもできます。電源出力は 5 V、9 V、10 V、12 V、15 V、20 V で、65 W です。

## モニターの設置

### モニターを設置するときの注意

モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

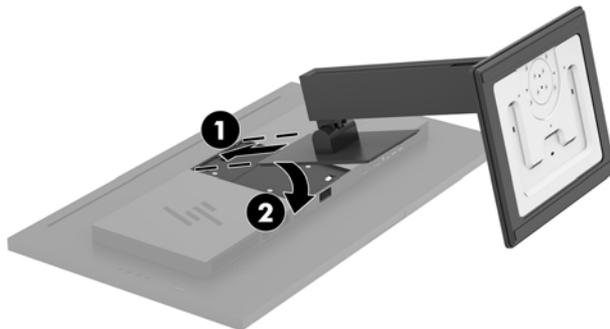
スタンドを取り付ける場合は、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止できます。

### モニター スタンドの取り付け

**⚠ 注意：**画面は壊れやすいものです。画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

**💡 ヒント：**モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイ パネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。

1. モニターを梱包箱から取り出し、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた安定した平らな場所に、ディスプレイ パネル前面を下向きにして置きます。
2. スタンドのマウントプレート上部 (1) を、モニター背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます。
3. スタンドのマウントプレート下部 (2) をくぼみに挿入し、カチッという音がするまで押し込みます。



## ケーブルの接続

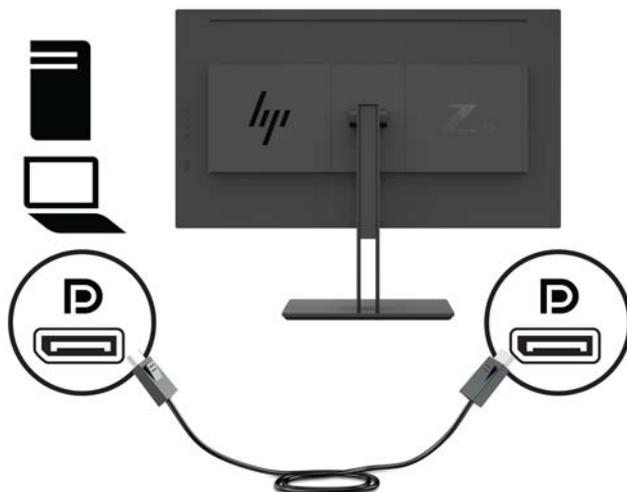
 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

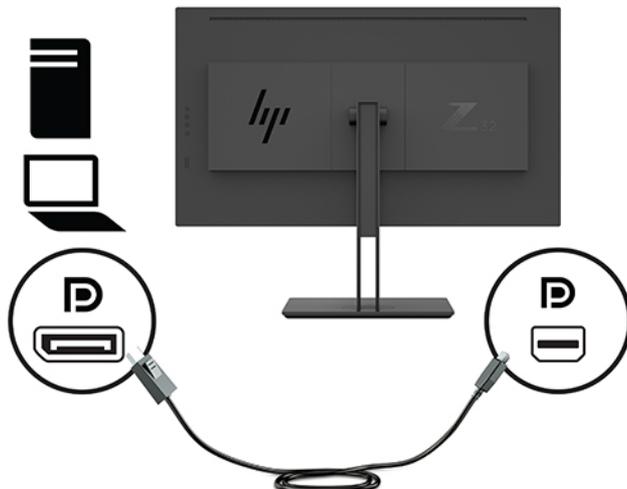
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押し、**【入力コントロール】**を選択してオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用します。

- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



- Mini DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の Mini DisplayPort 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort 出力端子に接続します。

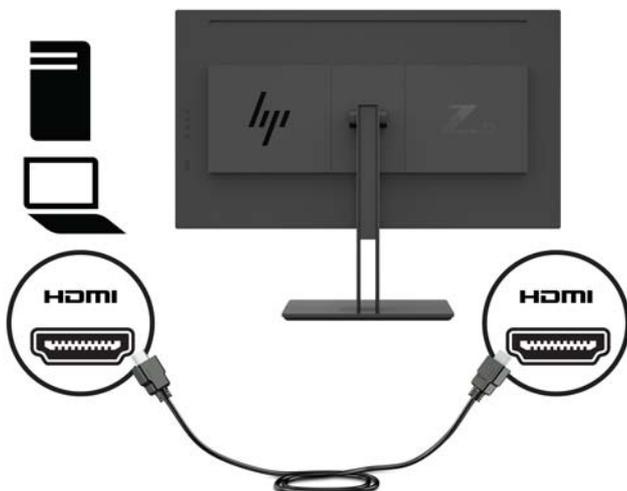


**注記:** システムのスリープ状態の終了後、または入力信号が失われた場合、DisplayPort ケーブルの接続に応じて、モニターと接続されているホスト デバイスの間で DisplayPort または Mini DisplayPort のどちらかのビデオ入力接続が無効になります。システムがスリープ状態から復帰すると、モニターはビデオ入力信号を自動的にスキャンしてアクティブな入力に切り替えます。

前回のビデオ入力接続が DisplayPort だった場合、モニターは自動的にスキャンして、USB-C ビデオ、DisplayPort、または HDMI ビデオ入力ソースに切り替えますが、Mini DisplayPort には切り替えません。前回のビデオ入力接続が Mini DisplayPort だった場合、モニターは自動的にスキャンして、USB-C ビデオ、Mini DisplayPort、または HDMI に切り替えますが、DisplayPort には切り替えません。

OSD メニューを使用して目的の DisplayPort (DisplayPort 1) または Mini DisplayPort (DisplayPort 2) 入力に接続しなおす必要があります。接続しなおすには、モニターの OSD ボタンを押して、【メニュー】→【入力コントロール】の順に選択し、目的の DisplayPort 設定を選択します。

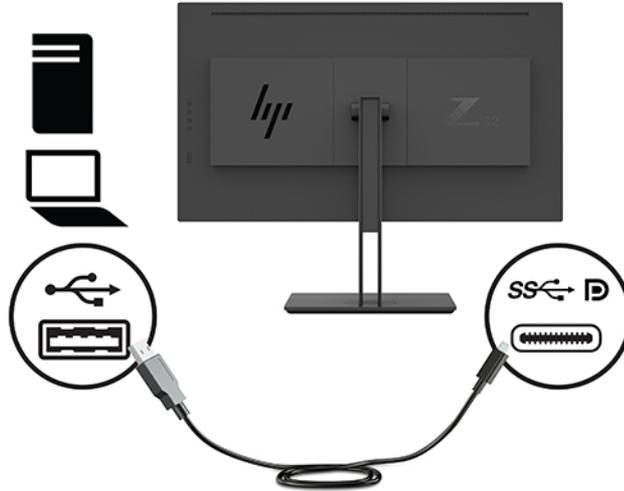
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスに接続します。



3. モニターの USB ポートを有効にするには、USB アップストリーム ケーブルをソースのコンピュータからモニターに接続する必要があります。

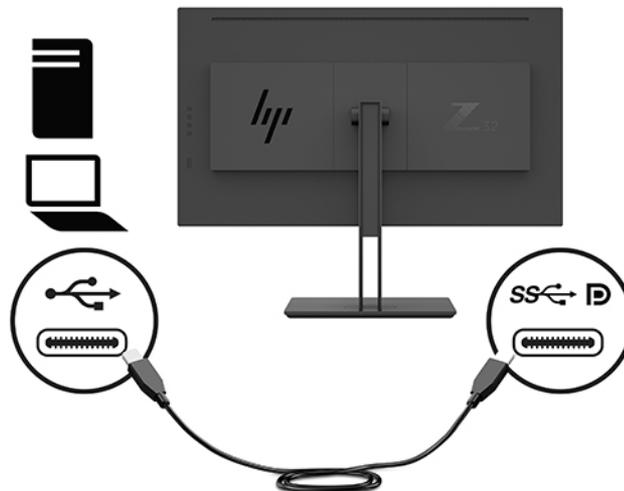
- USB ハブの場合 :

USB ケーブルの Type-C の端をモニターの USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB Type-A ポートに接続します。



- DisplayPort Alt Mode の場合 :

USB ケーブルの Type-C の端をモニターの USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB Type-C ポートに接続します。



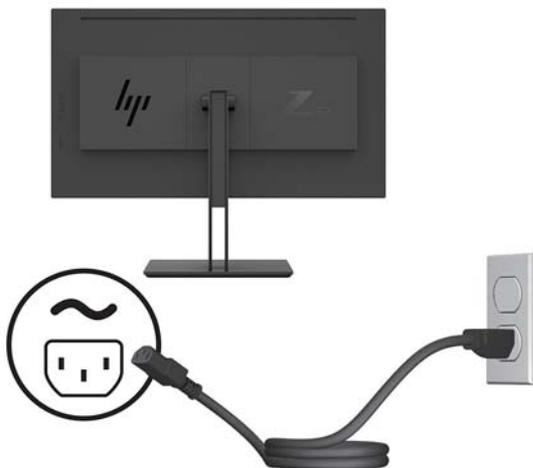
 **注記 :** USB-C へのビデオ入力ソースを設定するには、モニターのリアパネルの **メニュー** ボタンを押し、**[入力コントロール]**→**[USB-C の構成]**の順に選択します。

- **[3840 × 2160 @ 60 Hz + USB 2.0]** (3840×1600 (60 Hz)、USB 2.0) を選択すると、垂直周波数が高くなり、USB 速度が下がります。

または

- **[3840 × 2160 @ 30 Hz + USB 3.0]** (3840×1600 (30 Hz)、USB 3.0) を選択すると、垂直周波数が低くなり、USB 速度が上がります。

4. 電源コードの一方の端をアース（接地）された電源コンセントに接続し、もう一方の端をモニターに接続します。



**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## USB デバイスの接続

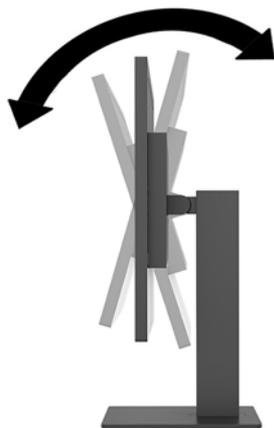
USB ポートには、デジタルカメラ、USB キーボードや USB マウスなどのデバイスを接続できます。モニターには USB ダウンストリーム ポートが 4 つあります。背面に USB-A ダウンストリームが 2 つと、側面に USB-C ダウンストリームが 1 つおよび USB-A ダウンストリームが 1 つです。

 **注記**：モニターの USB ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB アップストリーム ケーブルをコンピューターからモニターに接続する必要があります。[5 ページのケーブルの接続](#)の手順 4 を参照してください。

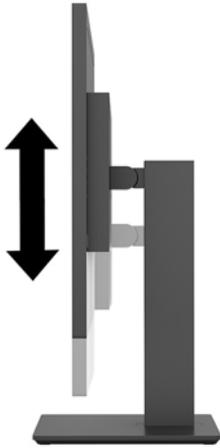


## モニターの調整

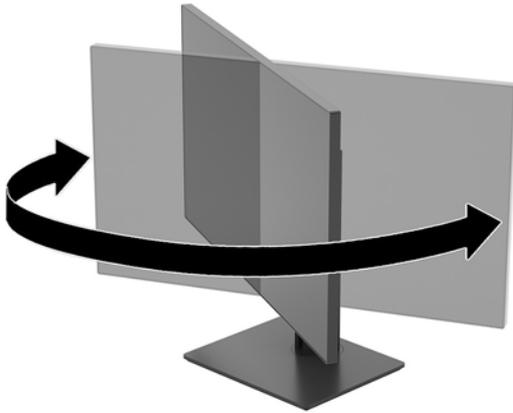
1. モニター パネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。

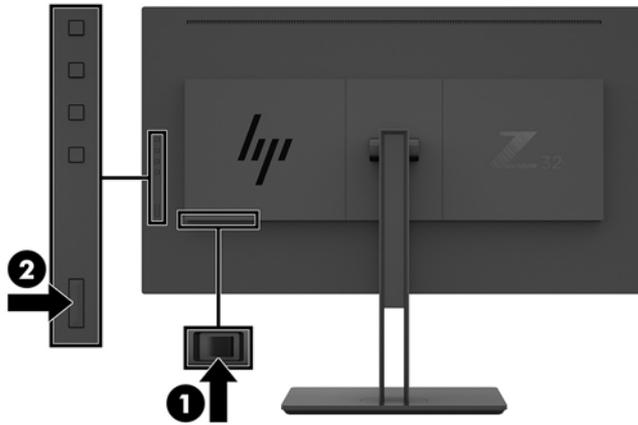


3. ディスプレイを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。



## モニターの電源投入

1. モニターの主電源スイッチ (1) をオンの位置に設定します。
2. モニター背面の電源ボタン (2) を押して、モニターの電源を入れます。



**△ 注意：**モニターの画面に2時間以上同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性があります。一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HPの保証の対象外です。

**📖 注記：**電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを10秒程度押し続けます。

**📖 注記：**電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターのリアパネルのメニューボタンを押して、**【電力コントロール】→【電源ランプ】→【オフ】**の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが5秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

## モニターを取り付け

モニターパネルは、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

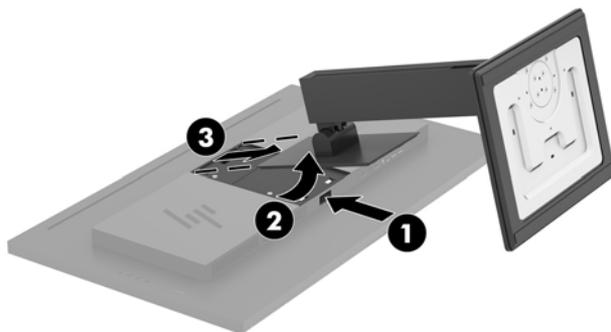
 **注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

 **注意：**このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジを使用すると、モニターが損傷する可能性があります。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

## モニタースタンドの取り外し

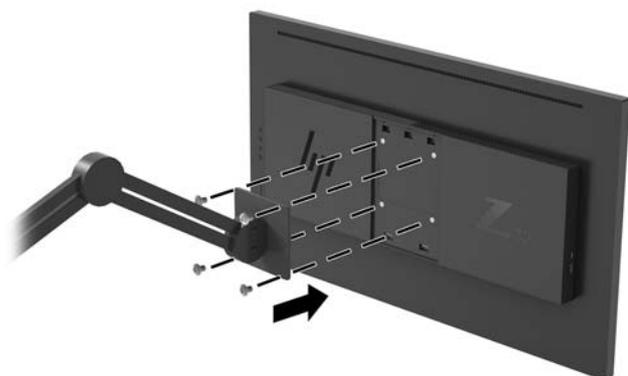
 **注意：**モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. VESA 準拠のリリースボタンを押し (1)、スタンドを解放します。
4. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウントプレートに隠れていたパネルのくぼみが完全に見えるようにします (2)。
5. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します (3)。



## 取り付け器具へのモニターの取り付け

1. モニタースタンドを取り外します。詳しくは、[12 ページのモニタースタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. モニター本体の背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 つのネジを取り外します。
3. モニター本体の背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 つのネジを使って、取り付け器具をモニターに取り付けます。



 **重要:** モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。

**重要:** モニターの最適なパフォーマンスと画面の見やすさのために、モニターを 90 度回転させて縦向きにしないでください。

## 2 モニターの使用

### ソフトウェアおよびユーティリティ

次のファイルを <http://www.hp.com/jp/support/> からダウンロードし、インストールできます。

- INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- [HP Display Assistant]（モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にします）

### 情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

# オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのリアパネルにある機能ボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

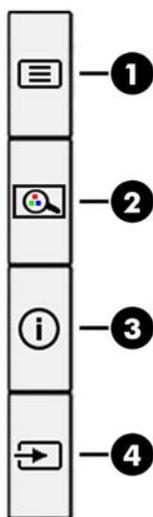
1. モニターの電源が入っていない場合は、モニターのリアパネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニターのリアパネルにある 4 つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にします。次に、メニュー ボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーン ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

メインメニュー	説明
Brightness or Luminance (ブライツネス/輝度)	画面のブライツネスまたは輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
PIP コントロール	PIP 画像を選択および調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD コントロールを調整します
管理	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

## 機能ボタンの割り当て

モニターのリアパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押すと、ボタンが有効になり、画面にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。



ボタン	機能
1 <b>メニュー</b> ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりします
2 <b>表示モード</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 1	<b>[表示モード]</b> メニュー内を移動し、プリセット表示モードを選択します
3 <b>情報</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 2	<b>[情報]</b> メニューが表示されます
4 <b>次のアクティブな入力</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 3	OSD メニュー内を移動して、ビデオ入力ソースを選択します

割り当て可能な機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを再設定するには、以下の操作を行います。

1. リアパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. OSD メニューで、**[メニューコントロール]**→**[ボタンの割り当て]**の順に選択し、割り当てなおすボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記:** 割り当てなおすことができる割り当て可能な機能ボタンは3つのみです。**メニュー** ボタンは割り当てなおすことができません。

# PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用

このモニターは、1つのソースをもう1つのソースに重ねて表示する PIP と、1つのソースともう1つのソースを水平（横向きの場合）または垂直（縦向きの場合）に並べて表示する PBP の両方をサポートしています。PIP モードでは、2つの FHD (Full High Definition) 画像を表示できます。

PIP または PBP を使用するには、以下の操作を行います。

1. 2番目の入力デバイスをモニターに接続します。
2. リアパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。
3. OSD メニューで、**[PIP コントロール]**→**[PIP を有効にする]**の順に選択します。
4. モニターは2番目の入力をスキャンして有効な信号入力を検出し、その入力を使用して PIP または PBP 画像を表示します。PIP または PBP 入力を変更する場合は、OSD メニューで**[PIP コントロール]**を選択し、**[入力の割り当て]**を選択します。
5. PIP のサイズを変更する場合は、OSD メニューで**[PIP のサイズ]**を選択し、目的のサイズを選択します。
6. PIP の位置を調整する場合は、OSD メニューで、**[PIP の位置]**を選択し、目的の位置を選択します。

## 低ブルーライトモードの調整

ディスプレイのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

ディスプレイからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. リアパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。**[カラー コントロール]** および**[表示モード]**を選択します。
2. 目的の設定を選択します。
  - **[低ブルーライト]**: TUV 認証済み。ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
  - **[読書]**: ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
  - **[夜間]**: ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します
3. **[Save and Return]** (保存して戻る) を選択して設定を保存し、メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**[キャンセル]**を選択します。
4. メインメニューから**[Exit]** (終了) を選択します。

**⚠ 警告!** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。このドキュメントは、正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から [日本語] を選択することで表示できます。

## 自動スリープモードの使用

このモニターは、**【自動スリープモード】**を設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、コンピューターから低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。コンピューターからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。モニターのリアパネルにある **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示します。OSD メニューで、**【電力コントロール】**→**【自動スリープモード】**→**【オフ】**の順に選択します。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	リアパネルの電源ボタンを押します <b>注記：</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	主電源スイッチがオフに設定されている	モニターの背面にある主電源スイッチをオンの位置に設定します
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 <a href="#">5ページのケーブルの接続</a> を参照してください
	システムがスリープモードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
	ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 <b>[入力コントロール]</b> メニューを選択します。 <b>[自動切替入力]</b> を <b>[オフ]</b> に設定し、手動で入力を選択します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	OSDメニューを開いて <b>[輝度]</b> を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
<b>[Check Video Cable]</b> と画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
<b>[Input Signal Out of Range]</b> というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは <a href="#">24ページのプリセットディスプレイ解像度</a> を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSDメニューを開き、 <b>[電力コントロール]</b> → <b>[自動スリープモード]</b> の順に選択して、自動スリープを <b>[オン]</b> に設定します
<b>[OSD Lockout]</b> と画面に表示される	モニターのOSDロックアウト機能が有効になっている	リアパネルの <b>メニュー</b> ボタンを10秒程度押し続けて、OSDメニューのロックを解除します
<b>[Power Button Lockout]</b> と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	リアパネルの電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

## ボタンのロックアウト

リアパネルの電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

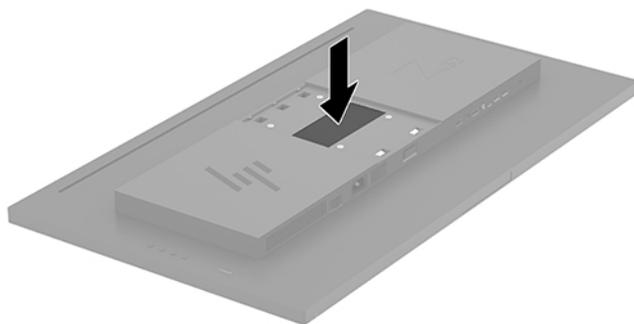
## お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

## シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の背面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。



## 4 モニターの保守

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：**モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

## モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。

---

**△注意：**布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**注意：**ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

---

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

<b>ディスプレイ</b>	<b>31.5 インチ (80 cm) ワイドスクリーン</b>
<b>種類</b>	IPS
<b>表示可能画像サイズ</b>	<b>80 cm (対角方向)</b>
<b>傾斜角度</b>	-5 ~ 20°
<b>質量</b>	
スタンドを除く	<b>7.6 kg</b>
スタンドを含む	<b>12.2 kg</b>
<b>寸法 (スタンドを含む)</b>	
高さ (最も高い位置のとき)	<b>56.4 cm</b>
高さ (最も低い位置のとき)	<b>44.4 cm</b>
奥行き	<b>24.8 cm</b>
幅	<b>71.5 cm</b>
<b>最大グラフィックス解像度</b>	3840×2160 (60 Hz)
<b>最適グラフィックス解像度</b>	3840×2160 (60 Hz)
<b>ドットピッチ</b>	0.06053 (縦) × 0.18159 (横) mm
<b>ピクセル密度 (Pixels Per Inch)</b>	140 PPI
<b>水平周波数</b>	28 ~ 135 kHz
<b>垂直周波数</b>	29 ~ 60 Hz
<b>環境条件 動作保証温度</b>	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-34 ~ 60°C
<b>相対湿度</b>	20 ~ 80%
<b>電源</b>	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
<b>動作保証高度 :</b>	
動作時	<b>0 ~ 5,000 m</b>
保管時	<b>0 ~ 12,192 m</b>

測定された消費電力：	
最大電力	200 W
通常設定	70 W
スリープ時	0.5 W 未満
電源切断時	0.3 W 未満
入力端子	DisplayPort×1、Mini DisplayPort×1、HDMI 入力端子×1、アナログオーディオ出力コネクタ×1、USB Type-A ポート×3、USB Type-C ポート（アップストリーム）×1、USB Type-C ポート（ダウンストリーム）×1

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.940
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	720×480	31.469	59.940
5	1024×768	48.363	60.004
6	1280×720	45.000	60.000
7	1280×768	47.396	59.995
8	1280×800	49.702	59.810
9	1280×1024	63.981	60.020
10	1440×900	55.935	59.887
11	1440×900	55.469	59.901
12	1600×900	60.000	60.000
13	1600×1200	75.000	60.000
14	1680×1050	65.290	59.954
15	1920×1080	67.500	60.000
16	1920×1200	74.038	59.950
17	1920×1200	74.556	59.885
18	2560×1440	88.787	59.951
19	2560×1600	98.713	59.972
20	3840×2160	65.688	29.981
21	3840×2160	133.313	59.997

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480i	720×480	15.734	59.94
2	480p	720×480	31.469	59.94
3	720p60	1280×720	45.000	60.00
4	1080i60	1920×1080	33.750	60.00
5	576i	720×576	15.625	50.00
6	576p	720×576	31.250	50.00
7	720p50	1280×720	37.500	50.00
8	1080i50	1920×1080	28.125	50.00
9	1080p60	1920×1080	67.500	60.00
10	1080p50	1920×1080	56.250	50.00

## 省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力モードの設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターの[Sleep Timer]（スリープタイマー）ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの[Sleep Timer]ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

---

## B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

### サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせるようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記：** 特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

### HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html)（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。